

3月18日～4月6日 JDS 大阪支部の写真展**会場を図書館へ移し、会期も20日間に延長した充実の写真展**

3月18日(金)から4月6日(水)、「世界ダウン症の日写真展 in 大阪 2016」を、これまで5年間にわたって親しまれた梅田スカイビル「空中庭園展望台ギャラリー」から西区にある大阪市立中央図書館へ会場を移して開催しました。

外国人観光客の多い場所から一般市民や近隣住民が多い場所に変更し、さらに、会期もこれまでの9日間から20日間に大幅に延長しました。来場者は、地元の大阪市民はもちろんのこと、京阪神から来てくださったり、遠くはタイのバンコクからも！会期中に図書館を利用した人は約8万6,000人で、うち会場を訪れた人は約9,000人とみられています。

「世界ダウン症の日」の3月21日には、

ステージイベント「ダウン症の日フェスタ」を開催し、5階ホールは約300人の観客でほぼ満員になりました。大阪支部の玉井浩支部長は、「多くの方にご来場いただきありがとうございます」と、ブログを通じて感謝のコメントを発表しました。

【大阪支部 広報：今村 仁司】



大阪市立中央図書館で約9,000人に観て頂きました！

3月14日～18日 アクセプションズの写真展**写真に写る子どもたちが多くの人に“笑顔をプレゼント”**

東京・西小山を拠点に活動しているフォトグラファー、木村雅章氏。世界ダウン症の日関連イベントとして開催した今回の写真展「笑顔のプレゼント ～ダウン症の子どもたちと心通じる時～」では、3月14日(月)から18日(金)の5日間、神谷町にあるカフェ&ギャラリー「カフェパピエ」で、木村氏がダウン症関連のイベントやワークショップで撮り続けてきた写真を紹介しました。

普段私たちのイベントに参加されている方、木村氏の仕事を通じて来られた方など、様々な方々が来場され、ダウン症のある子どもたちの自然な表情に見入っていました。

最終日には、ワークショップで講師を務めたミュージシャンによるライブも開催しました。ビジネス街という場所柄もあり、

普段あまり“ダウン症”の情報に触れることがない方々にも、ダウン症のある子どもたちのありのままの姿を知ってもらう格好の機会となりました。

【NPO 法人アクセプションズ：安藤 誠】



木村雅章氏がダウン症のある子どもたちを撮った写真展

3月21日「世界ダウン症の日」、3月「ダウン症啓発月間」のこの時期、様々な関連事業が全国各地計25カ所で行われました。3月14日～4月16日の報告です。